



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成25年10月25日

各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

技術委員会

2014 年度 J-GP3 クラスの技術規則について

2014 年「J-GP3 の 4 ストローク車両技術仕様」は、車両コストの低減を目的として変更することになりました。変更は、予告事項の「クランクシャフト回転規制値の変更」に加え、エンジンの改造を制限する内容になっています。

今回はエントラントの皆様に変更の概要を早くお伝えする為、変更の概要を以下に記します。

詳細な内容は、12 月末に発行される 2014 年国内競技規則書にてご確認ください。

I. J-GP3(4 ストローク)の車両規則について

1. 参加車両

J-GP3クラスの4ストローク車両は、MFJ が公認した車両(現時点では NSF250R を指す)のエンジンまたは、GP-MONO 車両(公認車両のモトクロス、エンデューロのエンジンベース)でなければならない。

2. 改造範囲

エンジンとは吸気システム(スロットルボディ、インジェクター)及び1つの完全なトランスミッションを含む完全なエンジン本体を指し、**公認車両時のエンジンから変更および改造は下記以外禁止とする。**

1) シリンダーヘッド

- ・ベース面の研磨による圧縮比の変更は認められない。ただし、ベース面の摺合せによる歪みとりは認められる。
- ・吸気ポート(インシュレーターも含む)、排気ポートのバリ取り(幅 3mm)とカーボンの除去、バルブシートカットおよびシートとの段差の修正は認められる。

2) カムプロケット

公認車両時の状態からカムプロケットの取り付け穴の変更(追加工)は認められる。

3) クランクケース

ギヤポジションセンサー取り付けのためのクランクケースとシフトドラムへの追加工が認められる。

4) クラッチ

タイプ(乾式・湿式)と操作方法(ケーブル式・油圧式)が公認車両と同じであることを条件にクラッチの改造および変更が認められる。

5) インレット(エアファンネル)及びフュエルシステム

- ・エアファンネルの改造および変更は認められる。
- ・最大2つのフュエルインジェクターが認められる。インジェクターを追加する場合のステーの追加と加工は



認められる。

6) トランスミッション

- ・ミッションレシオの変更は認められるが、段数の変更は認められない。
- ・ミッションギアのコートニングは認められる。

7) オイルクーラー

オイルクーラーの追加が認められる。オイルクーラー取り付けのためのカバーの改造または変更が認められる。

8) エアクリナーボックス

エアクリナーボックスの改造または変更が認められる。

9) スパークプラグ／プラグキャップ／ハイテンションコード

スパークプラグ／プラグキャップ／ハイテンションコードは変更しても良い。

10) ボルト・ナット類

ボルト・ナット類は変更しても良い。

11) ECU

- ・クランクシャフト回転数規制は**13,500**rpm を上限とする。
- ・MFJ 公認車両時の ECU または、公認部品として登録されたECUのみ使用することが認められる。

※下記の公認されているECUを使用されている方は、最高回転数を 13,500rpm にプログラムの書き換えが必要になります。

◎書き換えについては、下記の取り扱いメーカー、販売元にご相談ください。

	名称 型式	販売元、問い合わせ先
1	ミクニ ECU280	株式会社7C
2	マイクロテック M232GP3	レイクラフトサービス
3	マイクロテック M270R-GP3	レイクラフトサービス

問い合わせ先:

株式会社7C TEL:0467-70-1510

レイクラフトサービス TEL:046-225-6284

★ホンダレーシング(ケーヒン製)PGM-F-I/IGN UNIT COMP(38770-NX7-033)は、そのまま使用できます。

12) GP-MONO車両(公認車両のモトクロス、エンデューロのエンジンベース)の追記事項

2. 改造範囲 1)～11)項に相反する項目については、この追記事項が適用されます。

詳しい内容は、国内競技規則書にてご確認ください。

13) その他

エキゾーストパイプ、サイレンサーを含むシャーシ関連は、2013年規則からの変更はありません。